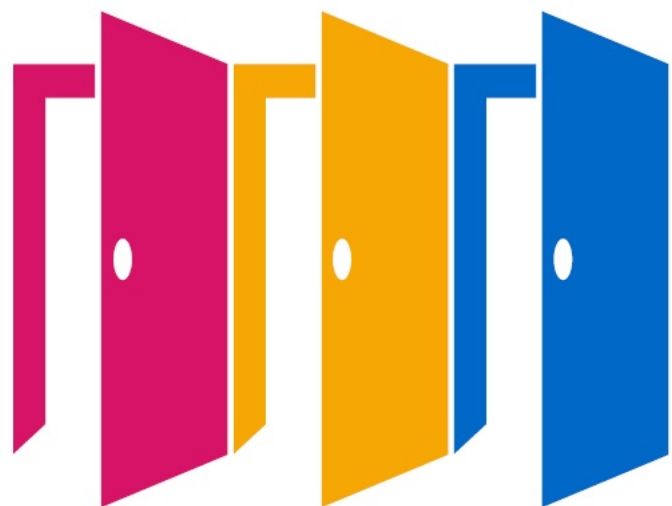


RI第2027地区 2020-2021年度 会長エレクト研修 (PETS) 報告



Rotary Opens Opportunities

日出口ロータリークラブ
2020-2021年度
会長エレクト
加賀山 茂



2020-2021年度RI会長のテーマ

英語



Rotary Opens Opportunities

日本語



ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021年度RI会長のテーマ 色に基づく解釈

- このクナーク会長テーマのシンボルマークのロゴの色に注目してみましよう。気づかれましたか？
 - 真ん中の色はまさにロータリーゴールドであり、
 - 右側はロイヤルブルー〔実は、アジュール、ロイヤルブルーは、インターアクト(12歳～18歳)のシンボルカラー〕、
 - そして左側はクランベリーレッドという組み合わせになっています。このクランベリーレッドはロータリーアクト(18歳～30歳)のロゴマークのカラーなのです。
- ホルガー・クナーク会長エレクトはこの扉に、「ロータリーアクトの若者への扉も用意しである」はもちろん、様々な奉仕活動を求める地域社会のすべての人々へのメッセージを伝えようとしたに違いありません。
 - ただし、カラーの意図についての正式な発表はありません。
 - 『国際ロータリー第2720地区2020～2021年度会長エレクト研修・オンラインセミナーテキスト』18頁

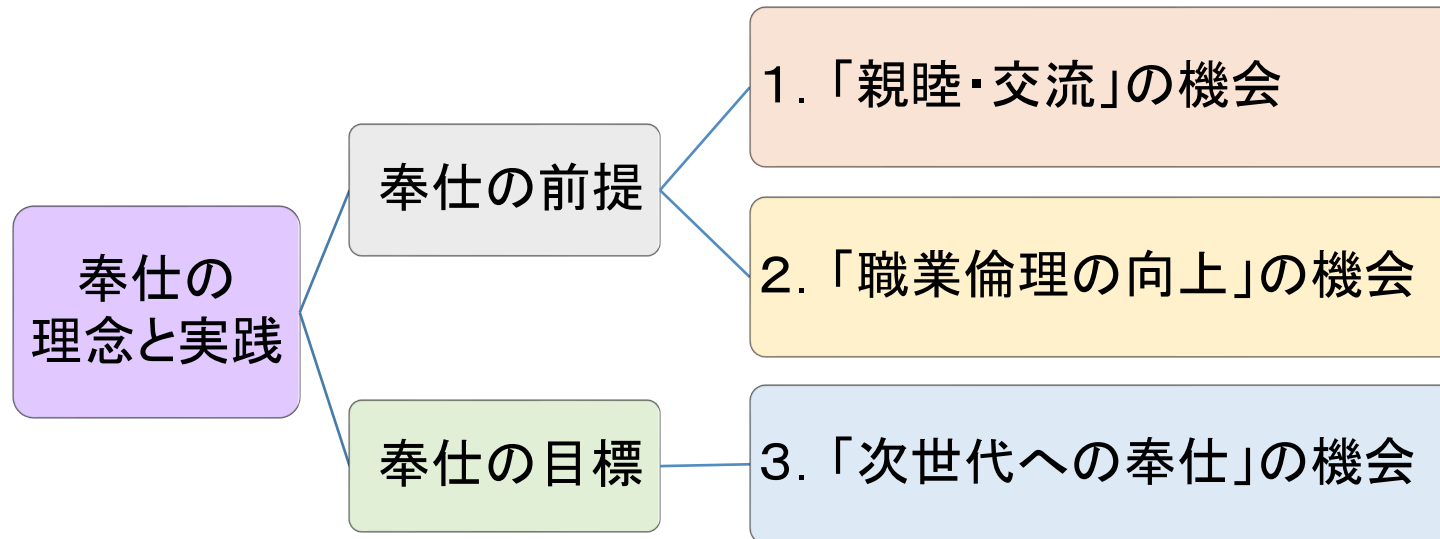


ロータリーは機会の扉を開く

「ロータリーは無限の可能性：
情熱で夢を未来に届けよう」
(硯川昭一・2720地区ガバナー)

2020-2021年度RI会長のテーマ 内容に基づく解釈

和らぎ睦びて事を論じ，次世代への奉仕活動を実践しよう



ロータリーは機会の扉を開く

他人 自分	自分は知っている	自分は知らない
他人は知っている		
他人は知らない		



<p>他人 自分</p>	<p>自分は知っている</p>	<p>自分は知らない</p>
<p>他人は知っている</p>	<p>I 開放の窓 (open self)</p>	
<p>他人は知らない</p>		



<p>他人 自分</p>	<p>自分は知っている</p>	<p>自分は知らない</p>
<p>他人は知っている</p>	<p>I 開放の窓 (open self)</p>	<p>II 盲点の窓 (blind self)</p>
<p>他人は知らない</p>		



<p>他人</p> <p>自分</p>	<p>自分は知っている</p>	<p>自分は知らない</p>
<p>他人は知っている</p>	<p>I 開放の窓 (open self)</p>	<p>II 盲点の窓 (blind self)</p>
<p>他人は知らない</p>	<p>III 秘密の窓 (hidden self)</p>	



<p>他人 / 自分</p>	<p>自分は知っている</p>	<p>自分は知らない</p>
<p>他人は知っている</p>	<p>I 開放の窓 (open self)</p>	<p>II 盲点の窓 (blind self)</p>
<p>他人は知らない</p>	<p>III 秘密の窓 (hidden self)</p>	<p>IV 未知の窓 (unknown self)</p>



2020-2021年度 日出口ロータリークラブ会長のテーマ

和らぎ睦びて事を論じ，次世代への奉仕活動を実践しよう



参考文献

■ 法律家の思考方法

- イェーリング(小林孝輔=広沢民生 訳)『権利のための闘争(原著1872年)日本評論社(1978)
- カイム・ペレルマン(江口三角 訳)『法律家の論理—新しいレトリック』木鐸社(1986)
- フィッシャー=ユーリー(金山宣夫, 浅井和子 訳)『ハーバード流交渉術』三笠書房(1990)

■ 生物・ヒトの本質に迫る

- 福岡伸一『生物と無生物のあいだ』講談社現代新書(2007/5/20)
- 福岡伸一『できそこないの男たち』光文社新書(2008/10/20)
- 中屋敷 均『ウイルスは生きている』講談社現代新書(2016/3/20)
- ジェームズ・C・スコット(立木勝 訳)『反穀物の人類史—国家誕生のディープヒストリー』みすず書房(2019/12/21)
- シーナ・アイエンガー(櫻井祐子 訳)『選択の科学(The Art of Choosing)』岩波書店(2010)

■ 議論の方法

- アリストテレス(山本光雄 訳)「弁論術」『アリストテレス全集16』岩波書店(1968/12/10)1-329頁
- 岩田宗之『議論のルールブック』新潮新書(2007)206頁
- スティーヴン・トゥールミン(戸田山和久, 福澤一吉 訳)『議論の技法(The Uses of Argument(1958, 2003)) トールミンモデルの原点』東京図書(2011)

■ 学習方法論

- フリョフ・ハフト/平野敏彦 訳『レトリック流法律学習法』[レトリック研究会叢書2]木鐸社(1992年)
- 加賀山茂『現代民法 学習法入門』信山社(2007)
- 石川一郎『2020年の大学入試問題』講談社現代新書(2016/2/20)
- リヒテルズ直子『今こそ日本の学校に！ イエナプラン実践ガイドブック』教育開発研究所(2019/9/1)
- バイロン・リース(古谷美央 訳)『人類の歴史とAIの未来』ディスカバー・トゥエンティワン(2019/4/30)

